



燦たり東郷

北九州市立東郷中学校 学校通信
令和7年度 第3号 (R7, 6, 23 発行)
発行者：校長 飯田 聖二



東郷中学校区 読み聞かせ

5月30日(金)に1年生は大積小学校へ、2年生は白野江小学校へ、3年生は柄杓田小学校へ読み聞かせに行きました。立派なお兄さん、お姉さんでした。ありがとう！

感想等を紹介します。

【1年生】

- ・ 2年生と会ったときは緊張したけど、中休みに遊んでみると慣れて、読み聞かせをするときには緊張が解けて笑顔で読むことができました。自己紹介や挨拶も大きな声で言うことができ、読み聞かせも抑揚をつけたり、ゆっくり読んで間をあけたりして、自分のできるところまでのすべての工夫ができて、自分なりによく頑張ったなと思えました。
- ・ 今まで練習してきて出来なかったところでも、本番では出来たので嬉しかったです。少し緊張したけれど、緊張してやめたら、今までの練習が水の泡になるので、頑張ってやり続けました。終わった後は皆からの拍手でいっぱいになりました。今までやってきたことが無駄じゃないんだと気づくことが出来たので、これからも努力を大切にしていきたいと思います。

【2年生】

- ・ 練習の最初は棒読みだったり、早く読んでしまったりしたけど、練習を重ねていくたびに少しずつうまくなっていました。私は(小学校)2年生が楽しめるように、ゆっくり読んだり、セリフっぽく読んだりしました。(小学校)2年生が楽しんでくれたし、集中して聞いてくれたので私も嬉しかったです。先生方も喜んでくれたので良かったです。
- ・ 練習の時、全部ひらがなで読みづらく、文をどう区切って、ゆっくり話せばいいのか分からなかったけど、班の人と見せ合い、直したほうがいいのかや工夫したほうがいいのかを教えあいました。本番を通して、小学生が聞きやすいように声を大きくしたり、文と文の間を区切り、感情をこめたりと、本を読むにあたって、何が必要なのかを知ることが出来ました。本番を経験して、(小学校)2年生は、自分たちとは違った視点で本を見ていて、すごくおもしろかったです。

【3年生】

- ・ 初めは緊張したけど、小学生が静かに、そして真剣に聞いてくれたので、徐々に練習通りの読み聞かせをすることが出来たので良かったです。私達のグループは本が短かったのも、質問をする時間がありました。小学生が質問をしてくれたり、自分達が質問をしたりして交流する場を設けることが出来ました。この交流によって柄杓田小学校の良いところを知ることができてとても良い時間だったと思います。また、この読み聞かせを通して、本との関わりを増やしていこうと感じました。
- ・ 人に読み聞かせをするのは、緊張したり恥ずかしさがあったりするので大丈夫かなと思っていたけれど、小学生たちが静かに真剣に聞いてくれてとても嬉しかったです。モルックでは小学生たちに中学校に来てもらったけど、今回は逆に私たちが小学校に行って、お互いの学校の良さを知ることができて良かったなと思いました。柄杓田小学校は小さい学校だけれど、みんなが仲良くて素敵だなと感じました。小学生と交流できる貴重な機会だったので、少しでも小学生たちが「中学校が楽しみだ」と思ってくれたら良いなと思いました。

小 中 一 貫 読 み 聞 か せ

小中一貫教育として、東郷中学校区3校へ
「読み聞かせ」に行ってきました

3 学年

柄杓田小学校へ



2 学年

白野江小学校へ



1 学年

大積小学校へ



練習開始時は、「どんな工夫をしたら小学生のみんなが楽しんで聞いてくれるだろう～興味を持ってくれるだろう～」と苦戦していましたが、担任の先生方を始め、学校図書館職員の方の相原先生にも読み聞かせのポイントを教えていただき、繰り返し練習しました。その練習の成果もあり、本番は声の大きさや、抑揚、絵本の角度やめくり方を意識した読み聞かせができ、どの学年も小学生からは「面白かった・楽しかった♪」といった感想をもらい、大成功でした！

また、小学生と良い交流ができ、生徒の一生懸命に取り組む姿など成長を感じた活動でした。